

## ワークシート（1時間目）

### 自然と人間は共生できるか？ —持続可能な社会をつくる環境倫理（1）—

◎知っている地球環境問題と、その原因を挙げてみよう。

(例) 地球温暖化 (化石燃料の燃焼による温室効果ガスの発生), オゾン層破壊 (フロンガス), 砂漠化 (過放牧, 過耕作, 過度の灌漑), 酸性雨 (工場や自動車の硫黄酸化物や窒素酸化物が雨に溶け込む), 熱帯林の減少 (焼畑, 森林伐採) → 生物多様性の喪失, 海洋汚染 (工場排水, 家庭の合成洗剤, 化学物質), 生態系の破壊 (様々な原因が絡み合う)

・ (1 公害 ) …大気汚染, 水質汚濁, 土壌汚染, 騒音, 振動, 地盤沈下, 悪臭による, 健康・生活環境に関わる被害 ← 地球環境問題に対し, 地域的問題…

◎私有地に牛を飼っていたとする。私有地の牧草は限られている。自分の利益を最大化するために、あなたはどのようにして牛を飼うか？

(例) 私有地の牧草がなくなっては困るため、頭数が増えすぎないように調整しながら牛を飼う。

・ (2 コモンズ ) [commons] … 共有地 cf. 日本の入会地

◎あなたを含めた複数の人が牛を飼っており、牧草地として自由にコモンズを利用している。コモンズの牧草は限られている。競争に勝たなければ生き残れないとしたら、自分の利益を最大化するために、あなたはどのようにして牛を飼うか？

(例) 他の人に牧草を取られないよう、なるべく多くの牛を飼う。競争に勝った後は、荒れ果てることがないように、コモンズを独占管理する。

◎すべての人が自分の利益を最大化しようと考えた場合、牧草地はどうなるか？ また、牛 = 個人の利益、コモンズ = 地球だと考えると、どのようなことがおこるか？

(例) 牧草は食べ尽くされてしまう。牧草が食べ尽くされれば、牛は飢え死にし、人間も死んでしまうかもしれない。コモンズを地球に例えると、利己心に任せて利用するうちに有限資源は枯渇し、環境悪化が進み、人間も滅んでしまいかねない。自由な営利追求は、環境問題を考慮すると制限される。

→ 自由競争で自己の利益を追求することが必ずしも社会全体の発展につながるとは限らない = (3 コモンズ (共有地) の悲劇 ) [The Tragedy of the Commons]

個人・企業が利己心に基づいて利益追求しても、(神の) 見えざる手によって需要・供給が調整され、社会全体の富が増える…という資本主義経済の論理 (アダム・スミス『国富論』) に反する!

◎なぜ自然を大切にしなければならないのか？

(例) 自然界の資源のおかげで人間は生きていけるから。人間だけが自然を利用できるわけではないから。自然界の動植物も人間同様に尊重すべき価値があるから。地球にある資源 (石油, 石炭, 天然ガス, 食料, 土地) には限りがあるから。将来、自分の子どもや孫の世代で資源が枯渇するなどの影響が出ては困るから。